

第107回宇宙政策委員会・第34回基本政策部会合同委員会

1. 日時：令和5年9月14日（木） 15：00－16：30

2. 場所：中央合同庁舎4号館共用1208特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

・宇宙政策委員会

後藤委員長、常田委員長代理、遠藤委員、片岡委員、篠原委員、白坂委員、鈴木委員、松尾委員

・基本政策部会

白坂部会長、常田部会長代理、青木委員、石田委員、臼田委員、片岡委員、篠原委員、角南委員、中須賀委員、南委員、山崎委員

(2) 事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局

風木事務局長、坂口審議官、滝澤参事官、山口参事官

(3) オブザーバー

内閣府特命担当大臣（宇宙政策担当）：高市大臣

森昌文内閣総理大臣補佐官

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 山川理事長、石井理事

(4) 関係省庁

内閣官房内閣情報調査室内閣衛星情報センター管理部：市川部長

総務省国際戦略局：豊嶋審議官

文部科学省研究開発局：千原局長

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課：上田課長

農林水産省農林水産技術会議事務局：東野研究総務官

経済産業省大臣官房：浦田審議官

国土交通省大臣官房：石橋技術総括審議官

環境省大臣官房：神谷サイバーセキュリティ・情報化審議官

防衛省：北尾審議官

4. 議事要旨

(1) 令和6年度宇宙関係予算の各省の概算要求状況について

令和6年度宇宙関係予算の各省の概算要求状況について、宇宙事務局および各省より資料 1-1～1-9に基づき説明を行った。委員からは以下のような意見があった。

（以下、○委員からの意見）

○日本だけではパイに限りがあるため、海外との積極的な連携が重要。

○シーズ開発側の官庁のみならず、利活用側の官庁の施策を充実させ、開発側・利活用側の官

庁の連携が必要。

(2) 宇宙技術戦略策定に向けた検討の進め方について、宇宙事務局より資料2-1に基づき説明を行った。委員から以下のような意見があった。

(以下、○委員からの意見)

○宇宙技術戦略の策定は良い取組であり、スピード感を持って取り組んでほしい。特に、商業化の支援が非常に重要である。予算獲得にもしっかり活用してほしい。

○宇宙分野の産業競争力を高めるにあたっては、デジタルエンジニアリングなど、宇宙に特化した分野以外にも、目配りをしなければならない。

(3) 基幹ロケットの状況について文科省より資料3-1~3-4に基づき説明を行った。委員から以下のような意見があった。(以下、○委員からの意見)

○直接的原因の検証に加えて、設計やエンジニアリング、検証プロセスといった背後要因の分析もしっかりと行って欲しい。

○H3の失敗原因となった電源系でのショートは、衛星の製造でも知見がある。JAXAやメーカーでは、衛星とロケットの開発において、技術者の交流をしてはどうか。

以上